

CASIO

MPC-701

テンキー文字入力解説書



カシオ計算機株式会社

目次

第 1 章 概要	3
1-1. 動作環境.....	3
1-2. モジュール構成.....	3
第 2 章 機能	4
2-1. アルファベット入力.....	4
2-1-1. アルファベットモード.....	4
2-1-2. プロダクト ID モード.....	4
2-2. 状態変更ツール.....	5
第 3 章 使用上の注意	6

1. 概要

MPC-700 キーボードは、本体テンキーの CTRL や ALT と数字キー(1~5(日本語のみ)と 8/9)を組み合わせることで、外部キーボードを接続することなく、アルファベットの入力を可能としています。
また、ドライバとして実装しているため、Windows セットアップにおいても使うことが可能です。

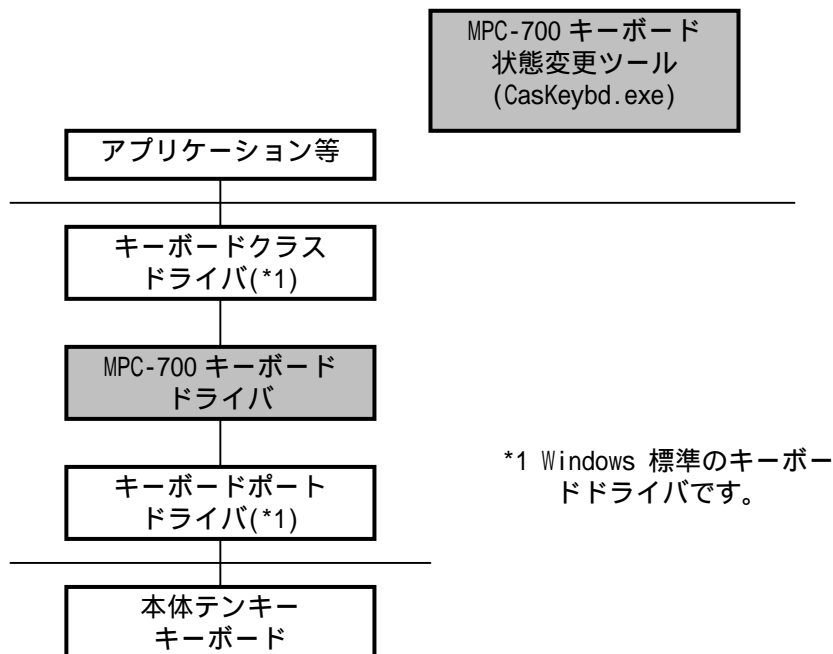
1-1. 動作環境

MPC-700 キーボードは、キーボードクラスのフィルタドライバとして実装されるため、動作する上で下表に記載するものが必要となります。

OS	Windows2000 Professional + ServicePack2
----	---

1-2. モジュール構成

本ツールは、下図に記載するモジュール構成で動作します。



2. 機能

本章では、MPC-700 キーボードが提供する機能について説明します。

2-1. アルファベット入力

MPC-700 キーボードでは、アルファベットへの変換を MPC-700 キーボードドライバにて行なっていますが、この変換には、以下 2 つのモードが存在します。

2-1-1. アルファベットモード

本体テンキーの CTRL キーと下表に記載する数字キーを組み合わせることで実現されます。

	変換文字	備考
CTRL+8	アルファベット全般(昇順) (日本語は、母音(aiueo)を除く)	次の文字を次のカーソル位置に表示させるためには、CTRL キーを離す必要があります。CTRL キーを押し続けている限り、現在のカーソル位置に上書きします。
CTRL+9	アルファベット全般(降順) (日本語は、母音(aiueo)を除く)	
CTRL+1	a(日本語のみ)	CTRL キーを離さなくても、次の文字は次のカーソル位置に表示されます。 日本語入力時の母音入力に適しています。
CTRL+2	i(日本語のみ)	
CTRL+3	u(日本語のみ)	
CTRL+4	e(日本語のみ)	
CTRL+5	o(日本語のみ)	

* 日本語入力をするには、IME 2000 入力モードにて日本語を有効にし、上記の子音入力と母音入力を組み合わせます。本体のスペースキーにより日本語変換し、リターンキーにより確定します。

2-1-2. プロダクト ID モード

本体テンキーの ALT キーと下表に記載する数字キーを組み合わせることで実現されます。

	変換文字	備考
ALT+8	プロダクト ID として有効なアルファベット (dcbfghjkmpqrvwxy)	次の文字を次のカーソル位置に文字を表示させるためには、ALT キーを離す必要があります。ALT キーを押し続けている限り、現在のカーソル位置に上書きします。
ALT+9	プロダクト ID として有効なアルファベット (yxwvtrqpmkjhgfdcb)	

2-2 . 状態変更ツール

MPC-700 キーボードには、「2-1.アルファベット入力」の状態を有効 / 無効に切り替えるツールが付随します。
このツールにて変更した状態は、Windows 再起動後に反映されます。



3. 使用上の注意

- (1) 状態変更ツールにて、現在の入力状態を変更した場合は、必ず Windows を再起動してください。
再起動されるまでは、変更した状態にはなりません。
- (2) MPC-700 キーボードをインストール/アンインストールした場合も、必ず Windows を再起動してください。

最終ページ